



色の並びにもちゃんと理由があるんです!

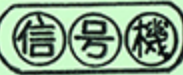
色の順番

虹

世界中で虹の色は5色から7色まで、色と見え方と順番により、違っています。色は順番はどこから見て決まっています。日本の7色で考えると「赤・橙・黄・緑・青・藍・紫」、科学的には連続した色の交代できず、区別できないので、色の数のとらえ方が様々になり、イギリスフランスでは6色、ドイツは5色と国により違います。



信号には縦型・横型がありますがそれぞれ色の順番は決まっています。

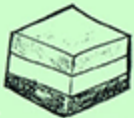


縦型は上から赤・黄・青、横型は左から青・黄・赤、一番重要な赤色が運転者から見えやすい位置に配置されています。例えば横型の場合道路脇などの障害物で隠れても内側の赤だけは見えるように！車が右側通行の国では横型が日本と逆の並びになります。

ひもぢ

ひな飾りにお供えする3色のひもぢには、それぞれの意味と重ねる順番があります。

赤は魔除け、初の花のイメージ、白は子孫繁栄、白い雪のイメージ、緑は厄除け・健康・新緑のイメージ。重ねる順により、上から赤白緑は「雪の下には新芽が芽吹き桜の花が咲く」、赤緑白は「雪の中から新芽が芽吹き桜の花が咲く」、どちらも春の情景を表し、この順は地方により異なります。



印刷

アミンに使用されているインクの色は4色から構成されていますが、プリンターの中では1色ずつ順番に印刷を重ねて原稿の色にしています。その順番はブラック・シアン・マゼンダ・イエローの順です。インクの皮膜が薄く粘度の高い色から印刷をしています。



※原稿の高質や線により順番が変更される場合もありますが、基本的には上記の順です。

お坊さん



僧侶が法要の時などに身につける法衣の色はその位を表しています。この順番は聖徳太子が定めた「冠位十二階制度」の位の色が残っていて上から紫・青・赤・黄・白黒が配られています。

※ちなみに冠位十二階制度はそれぞれの色の濃淡で二階階に分け十二階でした。色の濃い方が上位を表します。

五色幕

お寺で見たがる五色の幕！これは仏教の寺院であることを表し、釈迦牟尼の教へと世に広めることを示しています。中国の「五行思想」から「青（緑）黄・赤・白・黒（紫）の順に表しています。青は新緑の幕、黄は身体の色、赤は血の色、白は雪の色、黒は夜の色、宗派によりさらに深い意味もあるそうです。



※狂言や能の舞台でも五色幕が用いられています。これも五行思想がうかがえます。うすですが順番が逆です。